

建築BIM環境整備部会（部会①） 今後の予定について

建築BIM環境整備部会（部会①）今後の予定について

全体工程	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
環境整備部会（部会1）	第6回 5/9 ○検討体制 ○工程表、タスク一覧		第18回 7/18	ガイドライン（素案）、入力基準（素案）、設計者チェックリスト（素案）等の意見照会		第19回 10/30	標準パラメタリスト（たたき台）意見照会 （作成に協力した協力関係団体には7～9月に事前実施）		第20回 12月頃		第21回 3月頃
戦略WG	第7回戦略WG 7/10 ○TFからの進捗報告 ○進捗確認 等			第8回戦略WG 10/18 ○TFからの進捗報告 ○進捗確認 等			第9回戦略WG 12月頃 ○TFからの進捗報告 ○進捗確認 等			第10回戦略WG 2月頃 ○TFからの進捗報告 ○進捗確認 等	

進捗報告の内容（案） ※主要なものを記載しており下記以外の進捗報告もTFの判断により行う。

審査TF	第7回戦略WGの報告内容	第8回戦略WGの報告内容	第9回戦略WGの報告内容	第10回戦略WGの報告内容
	○ガイドライン（素案） ○入出力基準（素案） ○設計者チェックリスト（素案）	○申請・審査マニュアル構成案 ○確認申請用CDEの進捗（外部関係者）	○ガイドライン（意見照会反映） ○入出力基準（意見照会反映） ○設計者チェックリスト（意見照会等反映） ○BIMデータ審査の進捗	○ガイドライン（案） ○入出力基準（案） ○設計者チェックリスト（案） ○申請・審査用マニュアル（素案） ○確認申請用CDEの進捗（内部関係者） ○BIMデータ審査の定義（案） ○BIMデータ審査用IFC・CDEプロトタイプ
標準化TF	第7回戦略WGの報告内容	第8回戦略WGの報告内容	第9回戦略WGの報告内容	第10回戦略WGの報告内容
	○工程表、タスク一覧 ○標準パラメタリストの進捗状況	○標準属性項目リスト（たたき台） ○ソフトウェア間での連携に関する検討の進捗状況 ○外部データとの連携に関する検討の進捗状況	○標準属性項目リスト（素案） ○ソフトウェア間での連携に関する検討の進捗状況 ○外部データとの連携に関する検討の進捗状況	○標準属性項目リスト（案） ○ソフトウェア間での連携に関する検討成果（連携仕様書） ○外部データとの連携に関する検討成果（連携仕様書）

標準属性項目リストに関する意見 照会について

- 標準属性項目リストに係る周知、及び入出力基準・解説書をより実効性のあるものとする等ことを目的とし、右資料を建築BIM推進会議webページに公開し、関係団体を通じた意見照会を行います。
- この機会を利用して、質問やご意見等をお寄せください。
- 頂いた質問やご意見は、今後の検討の参考といたします。

■意見照会の対象資料：建築BIM推進会議HPに公開

- 標準化TF_概要書_たたき台.pdf
- 標準化TF_標準属性項目リスト_統合_たたき台.xlsx
- 標準化TF_標準属性項目リスト_統合_たたき台.pdf
- 標準化TF_属性項目解説書_たたき台_00共通.pdf
- 標準化TF_属性項目解説書_たたき台_01意匠.pdf
- 標準化TF_属性項目解説書_たたき台_02構造.pdf
- 標準化TF_属性項目解説書_たたき台_03設備.pdf

■スケジュール案

- 2024年11月頭：webページ公開
- 2024年11月末：意見提出締め切り
- 2025年03月中：意見に対する回答の公開

※ 頂戴した意見書を元に標準化TFより個別確認や質疑などを行わせていただく場合がございます。その際には、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

建築分野におけるBIMの活用・ 普及状況の実態調査について

建築分野におけるBIMの活用・普及状況 実態調査について

○令和2年度及び令和4年度に、建築分野におけるBIMの活用・普及状況を確認するため、アンケートによる下記の実態調査を実施した。

- アンケート名
BIMの活用状況・普及拡大に関するアンケート
- 調査目的
現時点での建築分野におけるBIMの活用状況や活用における課題等を把握・整理
両年度調査との比較により、普及状況と今後の普及に向けた課題について分析
- 実施時期
令和2年度：令和2年12月11日～令和3年1月13日
令和4年度：令和4年11月17日～令和4年12月16日
- 実施方法
建築BIM推進会議に参加する下記の13団体に、広く会員の回答を依頼。
特に、団体ごとに各会員の関係部署単位での回答を依頼。

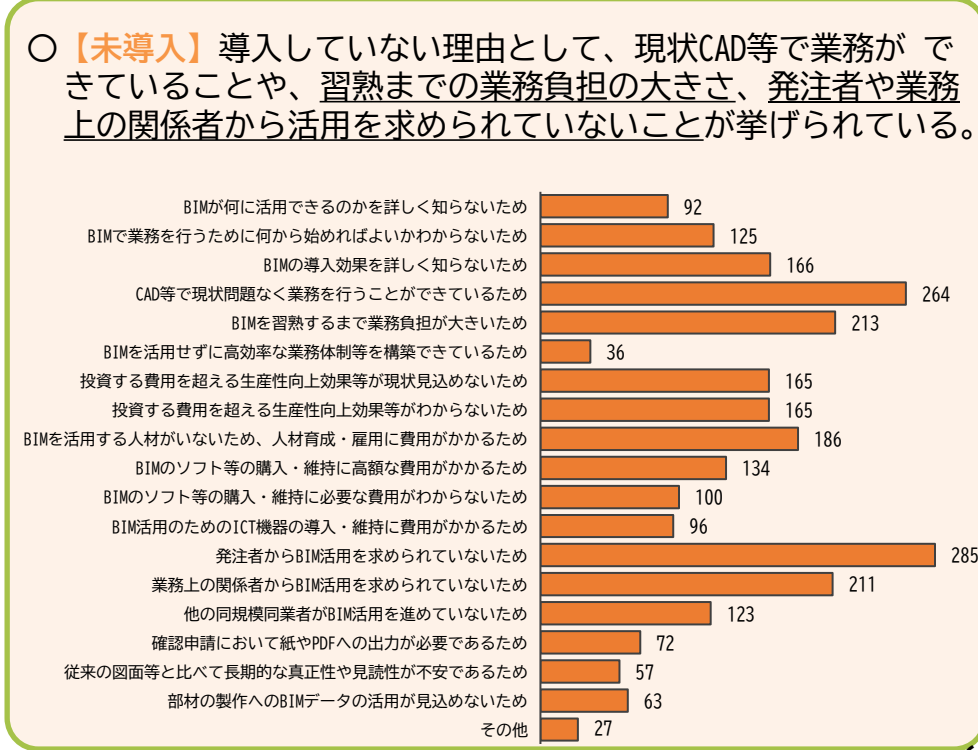
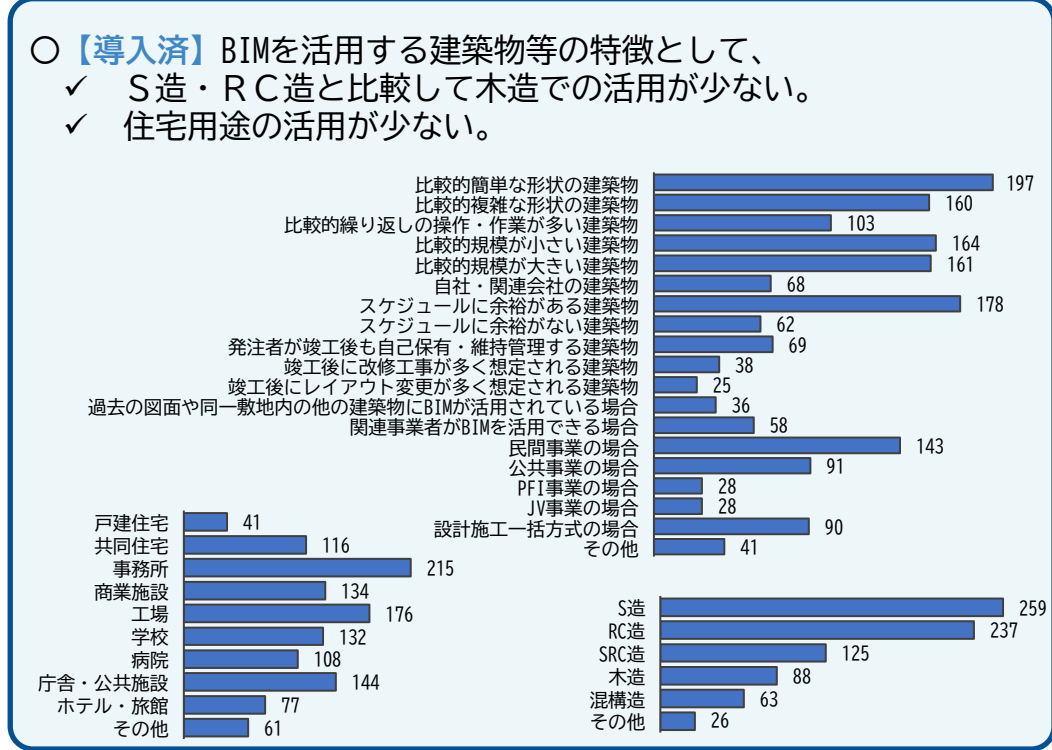
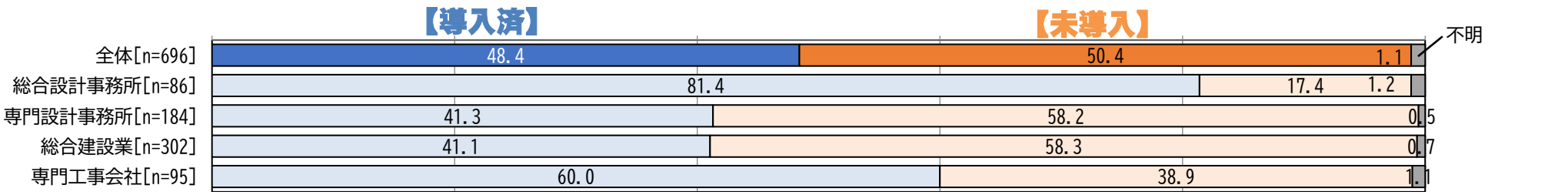
団体名		回答依頼部署	団体名		回答依頼部署
設計関係 団体（7 団体）	（公社）日本建築士会連合会	意匠設計関連部署	施工関係 団体 （4団体）	（一社）日本建設業連合会	①設計関連部署 ②施工関連部署
	（一社）日本建築士事務所協会連合会			（一社）全国建設業協会	施工関連部署
	（公社）日本建築家協会			（一社）日本空調衛生工事業協会	空調衛生工事関連部署
	（一社）日本建築構造技術者協会	構造設計関連部署		（一社）日本電設工業協会	電気設備工事関連部署
	（一社）日本設備設計事務所協会連合会	設備設計関連部署	維持管理・ 発注者 関係団体 等（2団 体）	（一社）住宅生産団体連合会	戸建住宅関連部署
	（一社）建築設備技術者協会			（公社）日本ファシリティマネジメント協会	ファシリティマネジメント 関連部署
	（公社）日本建築積算協会	積算業務関連部署			

令和4年度実態調査 結果について

令和4年度時点のBIM活用状況

○ BIMの導入率については、48.4%が導入していると回答。

- ✓ 設計分野については、総合設計事務所の導入率が約8割、専門設計事務所が約4割。
(専門設計事務所では、意匠事務所に比べ、構造・設備・積算事務所の導入率が低い)
- ✓ 施工分野については、総合建設業は約4割、専門工事会社は約6割。
- ✓ 企業規模別では、100人以上の企業が7割以上となっている一方で、100人以下の企業では約3割にとどまっている。



令和6年度 実態調査実施方針（案）

- 令和6年度においても、継続的に建築分野におけるBIMの活用・普及状況を確認するため、アンケートによる実態調査を実施したい。
- 前回調査以降の変化を把握するため、前回の調査項目を原則として踏襲、建築BIM推進会議にご参加いただいている団体の会員にご協力をお願いする予定。
- 回収数を増やすため、前回の配布対象より、幅を広げて配布していただくことについて、各団体にご協力をお願いする予定。

1. 調査目的

- ・現時点での建築分野におけるBIMの活用状況や活用における課題等を把握・整理、過年度調査との比較により、普及状況と今後の普及に向けた課題について分析する。

2. 回答期間

- ・令和6年12月中旬～約1ヶ月程度

3. 調査の進め方

- ・建築BIM推進会議に参加する13団体に、回答頂く会員のリスト化・配布・調査項目の確認等へのご協力を依頼（特に団体ごとに、各会員の関係部署単位での回答を依頼）
- ・配布：Email（Excel調査票を各団体から配布）
- ・回収：Email（Excel調査票を事務局宛てに送付）

4. 調査概要（主な調査項目）

1) 回答企業・部署などの概要とBIMの導入状況

- ・所属団体、企業の属性・規模
- ・回答者の所属部署の属性・規模・年間受注案件数
- ・企業のBIMの導入状況

↓ 導入している

↓ 導入していない

2) 所属部署でのBIM活用状況等

- ・導入時期、きっかけ、活用状況
- ・BIM活用の評価、効果
- ・対象建築物の概要、活用のフェーズ
- ・活用する案件・人数の割合
- ・データ連携の有無と手法
- ・データ保管ルールの有無
- ・活用推進に向けた取組・教育
- ・今後のBIM普及への期待
- ・推進会議や各部署の取組の認知度

3) 今後のBIM導入

- ・今後の導入予定
- ・導入に至らない理由
- ・導入予定・興味がある場合、導入判断の契機
- ・推進会議や各部署の取組の認知度

ガイドラインの改定について

ガイドライン改定について

- 令和7（2025）年度中に、ガイドラインの改定を実施する。
- 令和6（2024）年度には、改定に向け、ガイドライン改定の骨子（改定の項目候補及び方向性、あるいは論点）の整理を行う。

■建築BIM推進に関する建築BIM推進会議・環境整備部会のこれまでの取組の概要

※BIMを活用した建築生産・維持管理プロセス円滑化モデル事業

	建築BIMの将来像と工程表	建築分野におけるBIMの標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン	その他
令和元（2019）年度	今後、建築業界における共通認識として目指していく将来像と、将来像を実現するための取組・工程を整理し、「建築BIMの将来像と工程表」としてとりまとめ（令和元年9月）	BIMのプロセス横断的な活用に向け、関係者の役割・責任分担等の明確化等を図るための標準ワークフロー、BIMデータの受け渡しルール、想定されるメリット等を内容とするガイドラインを策定（令和2年3月）	
令和2（2020）年度			BIMモデル事業※（ガイドライン第1版に基づく検証・分析）
令和3（2021）年度		BIMモデル事業※において、ガイドライン（第1版）を実際の様々な建築プロジェクトに活用し、標準ワークフローに沿ってBIMを活用した場合のメリットや、実運用に際した留意点が明らかとなったことから、第2版への改定を実施（令和4年3月）	同上
令和4（2022）年度	策定から3年半が経過し、一定の成果が得られた一方、社会状況の変化等の様々な課題が顕在化しており、また、政府方針としてBIMデータの利用拡大が示されたことを受け、さらなるBIMの利用拡大に向け、改定（増補）を実施（令和5年3月）		BIMモデル事業※（ガイドライン第2版に基づく検証・分析） 中小事業者によるBIM導入・活用に向けたステップ案の公開
令和5（2023）年度			BIMモデル事業効果検証・課題分析事例集の公開 BIM加速化事業の事業者登録開始
令和6（2024）年度		令和7年度中の改定に向けて、改定の骨子を整理	
令和7（2025）年度		ガイドラインの改定を実施	BIM図面審査開始

ガイドライン改定 主な改定の項目と改定のイメージ

主な項目 のイメー ジ(案)	①ガイドライン（第2版）において、「今後の検討課題」とされたもの	②建築BIMの将来像と工程表 ロードマップに示されたもの	③その他 ・ ISOや諸外国におけるガイドラインと比較して不足する項目 ・ 前回の改定において記述の充実が図られたもの
改定の イメージ (案)	・ 環境整備部会における意見とこれまでの調査・検討状況を踏まえ、記載の充実や更新が可能なものについて、各部会・団体の調査・検討成果を反映	・ 審査TF・標準化TF、および維持管理運用段階のデジタル化の検討成果を反映	・ 環境整備部会における意見とこれまでの調査・検討状況を踏まえ、必要に応じ、第2版改定以降の調査・検討成果を反映

- 第20回 建築環境整備部会では、既存の検討成果の整理を共有し、次年度の改訂に向けてガイドライン改定の主な項目案と大まかな方向性について整理・提示。
- 第21回 建築環境整備部会では、ガイドライン改定骨子（改定の項目案及び大まかな改定の方向性あるいは論点）の整理を行う。
- 具体的な改訂内容の検討は、次年度に実施。

■今後の進め方について（案）

全体工程	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
環境 整備部会 （部会1）			第18回 7/18			第19回 10/30		第20回 12月頃		第21回 3月頃	
								- 既存の検討成果の整理の共有 - ガイドライン改定の主な項目案と大まかな方向性について整理・提示		ガイドライン改訂骨子案について意見交換 →ガイドライン改定骨子の整理	